

／貯められない人のための／

# 手取り 10分の1 貯金術

経済ジャーナリスト  
酒井富士子

$\frac{1}{10}$





あなたは、どっち？

お金を貯められる人



お金を貯められない人



この本は、

お金を貯めなきゃいけないと思っっているのに、  
うまく貯められない人のための本です。

では、

- ・お金を貯められる人
- ・お金を貯められない人

のちがいはどこにあるのでしょうか？

お金を貯められない人はこう考えています。

収入ー支出＝貯蓄

一方、お金を貯められる人はこう考えています。

収入ー貯蓄＝支出

どこがちがうか、わかりますか？



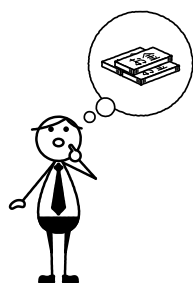
英国の政治学者パーキンソン博士は、こんな法則を提唱しています。

支出の額は、収入の額に達するまで膨張する

—— 『パーキンソンの法則…進歩の追求』（至誠堂）より

人は使えると思ったお金をすべて使ってしまうものだという意味です。

心当たりがあなたにもありますよね。



貯められないのは、あなただけではないのです。

「貯めるために、いくら残すか」を考えても

「お金を貯められる人」にはなれません。

「使う前にお金を貯めてしまう仕組みを作る」

これだけで「お金を貯められる人」になれるのです。



「使う前にお金を貯めてしまおう仕組みを作る」

そうすれば「お金を貯められる人」になれることが分かりました。

では、いったい、いくら貯めたらよいのでしょうか？



勤儉貯蓄を処世訓とし、後に投資によって財を成した本多静六は、こんな目安を示しています。

あらゆる通常収入は、それが入ったとき、天引き四分の一を貯金してしまう。さらに臨時収入は全部貯金して、通常収入増加の基に繰り込む。

—— 『私の財産告白』（実業之日本社）より

「手取りの四分の一を貯金だつて?!

しかも臨時収入も全部?!

そんなの無理だよ!」



確かに、手取りの四分の一を貯金することはとても大変です。

ただ、人が働ける時間は思った以上に限られています。

**60歳が定年だとしたら、あなたはあと何年働けますか？**

もしもあなたが20歳なら：

60 - 20 = 40で、あと40年間働けます。

もしもあなたが30歳なら：

60 - 30 = 30で、あと30年間働けます。

もしもあなたが40歳なら：

60 - 40 = 20で、あと20年間働けます。

年金の受給開始年齢が70歳になってしまったら、

60歳から70歳までの10年間は無収入。

この間をどうつなぐかといえば、貯金するしかありません。

60歳から70歳までの10年間で

毎月20万円で生活するには

10年間×12カ月×20万円で

**2400万円ものお金が必要です。**

20歳から貯金を始めた場合、

60歳が定年だとして40年間働けます。

2400万円を40年間で貯めるには、

2400万円 $\div$ 40年 $\div$ 12カ月で

毎月5万円も貯める必要があるのです。

手取り20万円だしたら、毎月5万円はちょうど  
四分の一。

決して多すぎるとは言えなくなっていました。

だからこそ

若いうちから

使ってしまう前に

毎月一定額を着実に貯めてしまう。

そんな仕組みを作る必要があるのです。

若いうちは収入が少なくても、  
四分の一も貯蓄に回すのは  
苦しいかもしれません。

そんなときは、

**手取りの10分の1を貯金する**

ことから始めましょう。

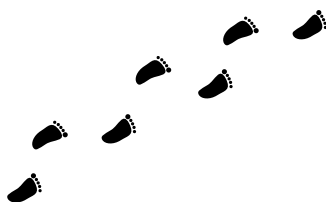


小さな一歩を、どうやって踏み出せばよいか？

小さな一歩を、どうやって大きな一歩に育てていけばよいか？

本書は手とり足とり、紹介しています。

貯金は金額が大事なのではありません。





長い人生を不安なく歩いていくために、

「自分は貯金しているんだ」という自信をもてる。

それこそが大事なのです。

「手取り10分の1貯金術」を実行して、

あなたも自分の未来を明るくしてみませんか？



2015年1月

株式会社回遊舎 酒井 富士子